

令和8年度

2回シリーズ第2回目

兵庫県介護支援専門員協会明石支部・
明石市介護サービス事業者連絡会居宅部会 共催研修

『アセスメント研修！ ケアマネジャーは何を、どう見抜くべきか？』 ～「なんとなく」を専門性に変える、「見立てる力」の実践講座～

(木村講師より)

私は新人の頃よりアセスメント力向上にこだわっていました。多くの先輩や先生方から学び、失敗や試行錯誤を重ねながら重ねながら学んできました。

今回は、その経験の中で整理してきた視点や考え方、様々な理論による具体的な方法「実践知」をお伝えしたいと思います。

明日から活かせる「見立てる力」について一緒に学びましょう。

日時

2026年

11月13日 金 14:00-16:30

会場

明石市医師会館3階多目的ホール
(明石市大久保町八木743-33)

参加費

兵庫県介護支援専門員明石支部会員：無料

明石市介護サービス事業者連絡会居宅部会会員：無料

兵庫県介護支援専門員協会会員：1000円

非会員：5000円 *研修当日にお支払いください

*受講証明書を発行します。Google formでのお申し込みの際に必要な事項をご記載ください。

お申し込みはコチラから



主催：兵庫県介護支援専門員協会 明石支部

共催：明石市介護サービス事業者連絡会 居宅部会

お問い合わせ：

【居宅部会】ちえの和ケアプランセンター明石事業所（岡） ☎078-945-5595

【明石支部】きぬがわ在宅介護支援センター（長尾） ☎078-926-5028

「なんとなく」を専門性に変える。

理論と実践知から学ぶ「見立てる力」



研修で学ぶ 3つのテーマ

01

全体アセスメント力の向上

8領域21ニーズを活用した生活課題の捉え方



02

家族アセスメントの実際

ソーシャルサポート理論＋実践知からのアセスメント法



03

BPSモデルによる現状分析と予後予測

体(生物)・心(心理)・社会(環境)の3つの視点で考える



理論と実践知から、明日からの支援に活かせる「見立てる力」へ。

講師 木村和弘 氏

社会福祉士 | 介護支援専門員 | 社会リハビリテーション学修士

介護老人保健施設の支援相談員として18年間勤務。認知症ケアやレスパイト、ターミナルケアなど、利用者や家族の「心が大きく揺れる場面」での家族支援に多数携わる。感情の葛藤が絶えない現場だからこそ支援者自身の「自己覚知」の重要性を痛感。

その後、児童福祉分野を経て、現在は大学・専門学校にて社会福祉士・保育士・看護師等の養成や、地域の多職種連携促進活動に従事。演劇を通じ市民に医療・介護サービスを分かりやすく伝える活動を行っている（脚本を執筆）。

こだわりは、相談援助面接、アセスメント、ネットワーク構築、自己覚知。これら専門技術について「具体的にどう考え、どう行動すべきか」という「実践知」の伝達にこだわる。特技は独自の「占い自己覚知」。研究テーマは「多職種連携」。複雑化する保健医療福祉の課題解決のために、ソーシャルワーク 活用を追求している。



全2回で、
ケアマネジメントを深める。

第1回 自己覚知

「自分を知る」



第2回 アセスメント

「相手を理解する」



よりよい
支援へ

皆様のご参加、お待ちしております！

